

夕光

伊豆高原十字の園 機関誌

ゆうかげ

No. 113



P2 ユニットケア最前線(2) ～社会福祉法人十字の園 理事長 平井 章～

P3 祝敬老の日～皆さん最高の笑顔でした～

P4 夏 新施設初めての納涼祭・家庭の暮らしを目指して～ユニットケア奮闘記～

P5 収穫の秋～デイサービス便り～・これが真空調理です！

P6 がんばろう日本～東日本大震災 被災地派遣報告～

P7 みなさんも“地域交流の場”に参加してみませんか？

＜表紙の写真＞

玄関前で流し素麺。

皆さん上手いもんですね！

ユニットケア

最前線(2)

社会福祉法人 十字の園

理事長 平井 章



昭和 56 年から 57 年までの 4 年間の「職員・在園者に関する資料」という大学ノートが出てきました。その中の昭和 58 年度を見てみます。



昭和 58 年度

在園者人数 58名(内、伊東市30名) 平均年齢76歳
 職員人数 29名(内、介護14名・看護3名) 平均34歳
 措置費単価 193,020円(内、生活費 49,860円)
 給食費/日 706円(主食98円、副食56円、嗜好品49円)
 経費調/月 おむつ(5,742枚) 電気(12,868kw/h)
 生活状況 入浴週2回(普浴…月・金、特浴…月・木)
 理髪(奉仕個人2名・理美容2団体)1人2か月1回
 排せつ 便所使用…自力14・杖歩行3・車いす2、介助1
 尿便器など…自力ポータブル11・尿器8・解除3
 備品 ベッド(手動29台・電動31台)
 車いす26台、リクライニング8台



園長が留守の時に見学者があると、このノートを持って説明したり質問に答えたりしました。入園者名簿を見ると懐かしい名前とともに、あの頃のことを思い出されます。

私の娘の光つ子ちゃんが入園者たちのアイドルでした。当時三歳。事情があつて、毎朝お年寄りに預けていました。目の見えないTさんにおんぶされ、片足欠損のYさんにお菓子を貰い、あの人の人が声を掛け面倒を見てくれました。家族のようにお付き合い合いましたような気がします。



頑固者のIさんは、施設を飛び出し、何度か皆で搜索をした人です。見つかった後、私と二人で食堂に入りいろいろお話をしてから帰園しました。この日以降、頑固者のままでしたが、飛び出すことはなくなりました。

関わった八七名全部思い出せます。自立支援型の個別ケアができていたよね、と思うのは私だけでしょか。

祝 敬老の日

毎年恒例の敬老の日。昨年までは施設全体での式典を行っていましたが、4月に新施設へ移り、今年からユニット毎での開催となりました。

入居者のご家族を招待し、一緒にお祝いをしました。お花を飾ったり、プレゼントを用意したり、手作りのお茶菓子でもてなすところ等…それぞれのユニットが工夫をこらした祝会を開催していました。



すみれユニットでは、当施設男性最高齢者の山口岩吉さん(101歳)に花束と色紙を贈呈し、入居者の皆様にはアルバムをプレゼントしました。

新しい施設で初めての祝会でしたが、ギター伴奏に合わせ、みんなで唄ったりと楽しいひと時を過ごすことができました。

すみれユニットリーダー 鈴木雪枝



けやきユニットでは、当施設最高齢者102歳の池田民子さんをお祝いしました。

池田さんは普段、私たち職員には手をかけさせまいと、ご自分で身の回りのことをしています。

つい先日の話になりますが、私が池田さんのお部屋へ書類に印鑑を頂くために伺いました。すると、親指を出し、「これは命より大切なものだ。これを押すときは命と引き換えだ。」と話されたのです。その言葉に、池田さんの心の強さを感じました。

普段見せて頂く笑顔と、感謝の言葉は、いつもありがたく思っています。いつまでも長生きして下さいように祈っております。

けやきユニットリーダー 小川智子



節目のお祝いの方々

喜寿 (77歳)

石井壽子さん
下田道子さん
今野良子さん
鳥丸フキ子さん

傘寿 (80歳)

該当者なし

米寿 (88歳)

朝妻松太郎さん
黒水 秋さん
久野幸子さん
西川京子さん
井上ふじさん

卒寿 (90歳)

小川さや子さん
荒木敏子さん

白寿 (99歳)

瀧澤春枝さん
藤井しげ子さん

百賀 (100歳以上)

山口岩吉さん
(101歳)
池田民子さん
(102歳 最高齢)

施設移転後初めてとなる納涼祭が8月6日に開催されました。焼きそば、フランクフルトといった模擬店もボランティアの協力を得て、行うことが出来ました。また、漁火繚乱会によるよさこい、富戸下方保存会の太鼓、恒例のすいかの早食いや、職員のアトラクション、花火大会と会場は盛り上がりました。今年は企画・準備等、例年以上に大変でしたが、入居者の皆様とご家族の方に納涼祭を楽しんで頂くことができうれしく思っています。



納涼祭



家庭の暮らしを目指して ~ユニットケア奮闘記~

もくれんユニットでは、入居者さんが主体的に生活できるように日々支援させて頂いています。

入居者の方々の落ち着く場所・居場所は、人それぞれです。ある入居者の方にとってのお気に入りにはユニットリビングにあるソファです。食事の後ソファに座りくつろいだり、ときには職員と一緒に座ることもあります。御家族が面会にいらした際にも、一緒に座り同じ時間を共に過ごし、くつろいでいます。



先日は「鰻が食べたい！」とのことで、食べに行きました。鰻を前にして満足な様子でした。しかし、となりの方の握り寿司に目移り。今度は寿司屋さんに行きましょうね。

これからも家庭にいた頃の、自然な暮らしが送れるよう支援していけたら…と思っています。

もくれんユニットリーダー 富岡良太

収穫の秋

春に植えた野菜達もすくすくと育ち、収穫の季節となりました。きゅうり、ナス、トマト、ゴーヤ、とうもろこし、へちマ等など…。きゅうり、ナス、トマトはぬか漬けになり、利用者の皆さんに召し上がっていただきました。今年初めて育てたへちマでは、たわし作りを楽しみました。



ディスプレイサービス便り

梅干し作り

今年は2年振りに、10kgの梅干し作りを行いました。雨続きで仕上がりに日にちがかかりましたが、出来あがった梅干しは瓶詰めにし、利用者の皆さんにお持ち帰り頂きました。「美味しかったよ！！」と沢山の声が聞かれました。



ふれあい広場に出品しました

9月18日(日)伊東市観光会館で行われた『ふれあい広場』に、「うちわ」「切り絵」、「ぼんぼんクラフト」「クラフトあさがお」「へちマたわし」等を出品致しました。



真空調理の調理の流れをご紹介します

今回は、「鶏肉と南瓜の炒め物」です。

- ① 鶏肉はスチームコンベクションオーブンで表面を加熱し、フラストチャーで急速冷却します



- ② 調味料煮あわせ、冷却します



真空調理とは？

従来の調理法「焼く」「蒸す」「煮る」とは異なり、生の食材（又は下処理済の食材）を調味料といっしょに真空袋に入れ、真空パックしたあと、それぞれの食材に最も適した調理温度で、パックのまま加熱調理する方法です。

食材のもつ風味や旨み成分、栄養分を損なわずに調理でき、真空パックなので保存にも適しています！

- ④ 加熱します
⑤ 氷水冷却機で冷却し、冷蔵庫で保管します。提供時にパックごと再加熱して皿に盛り付け出来上がりです。

- ③ 真空パックに鶏肉・南瓜・調味料を入れ、真空包装機にて真空パックします





東日本大震災 被災地派遣報告

宮城県 仙台市

震災から半年近くたった仙台の街は拍子抜けするくらいに「普通」に見えました。でもそれは、お一人お一人が前を向いて、歩んできた結果なんだと気づきました。しかし被害の大きかった地域では、かつて、この町で暮らす人々の生活用品や思い出の品々は、「がれき」となって高く高く積み上げられ、家も、建物も、土台だけを残した風景が遠くまで広がっていました。なんとか家の中の散乱した状態を片づけ、再び生活を始めようとする人々、全くの手つかずの状態の家、半年の間にできた差を目の当たりにした思いでした。



被災の程度の差こそあれ、そこにいた方々はさまざまな事情を背負って生活されていました。今後、避難所は閉鎖され、仮設住宅や自宅での新しい生活の基盤を立てていくこととなります。地域により差はありますが、みなさん、自分たちの新しいまちづくりのために前を向いて頑張っておられました。

支援に行ったはずの自分が、元気をたくさんもらいました。快く送り出してくださった職場の方々にも感謝です。貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

施設介護支援専門員 近藤 礼子

総合防災訓練

新施設へ移転して初めての総合防災訓練が9月5日の月曜日に行われました。

当日は接近していた台風の影響もありましたが、早朝7時からの非常連絡網による非常連絡訓練、情報伝達訓練や、「東海地震発生」を想定した避難誘導訓練、また地震による火災発生を想定した火災訓練と様々な内容の訓練を入居者はじめ、職員総出で行いました。



火災表示板や消火器の設置場所、非常放送設備の使用方法、避難経路等をマニュアルに沿って一つひとつ確認しました。

応急救護訓練では災害時の負傷者発生を想定した、止血法、負傷部位の固定、また、運搬方法などを看護室職員から指導を受けました。

参加した職員は、真剣な表情で訓練に参加していました。

防火管理者補佐 磯崎 亮

日々研鑽！

在宅事業所合同勉強会

私達、包括支援センター・居宅介護・通所介護・訪問介護の在宅事業所は、より良いサービス提供が出来るように定期的に在宅合同勉強会を開催しています。多くの専門職の目で多角的にケースを見つめることで自分ひとりでは気づかなかったことが見えてきます。時には私達自身が利用者やその家族になって相談する場面を演じてみたり：「こんな説明では納得できない！」「この言葉はうれしかった」「こんな気持ちになったよ」と。就業後で外は真っ暗ですが勉強会は熱気ムンムン白熱しています。



皆さんも「地域交流の場」に

参加してみませんか？

対島地域包括支援センターでは、高齢者の集いの場として、「いきいきサロン“ふれっしゅ”」を、定期的に開催しています。富戸・八幡野の各コミュニティセンター・池学習会館で、月1回木曜日の午後2時間程度、皆さんと集まって、楽しいひと時を過ごしています。今年、4月にエチケット袋やクリスマスリース作成・アコーディオンの伴奏で歌などを予定しています。職員も全員で参加しておりますので、気軽に日ごろ困っていることなどの相談にものることもできます。



今後の予定としては、ボランティアさんの協力による、エチケット袋やクリスマスリース作成・アコーディオンの伴奏で歌などを予定しています。職員も全員で参加しておりますので、気軽に日ごろ困っていることなどの相談にものることもできます。

“地域の高齢者の方が気軽に集まれる場”になっていきますので、よろしかったら、皆さんも地域の交流の場にいらしてください。

対島地域包括支援センター
社会福祉士 小針国子

介護予防教室同窓会

絆の会

皆さんこんにちは！ 介護予防教室『かがやき』の大崎です。初めてお目にかかる方もいらっしやると思いますが毎週木曜日午後1時から3時の2時間、地域交流ホールで体操教室を開催しています。

少し介護予防教室『かがやき』のことをお話ししたいと思います。3か月1クールでチエアエクササイズ（椅子に座って）の体操を行っています。もちろん高齢者向けに科学的根拠に基づいての動きを取り入れて体操しますので、体力差の大きい高齢者にも安全なプログラムです。自主性・習慣化が第一の目標で、閉じこもりの防止にもなります。しっかりとがんばるとダイエットにもなりますよ！いい汗かきますので、ぜひ1度見学を兼ねて遊びに来て下さい。お待ちしております！

体操教室を機にお友達になられた方、初めてお会いする方など、今回は十四名の方々が参加されました。指体操・リズム体操・脳トレ・ニング等、苦戦しながらも思い出しながら身体を動かしました。それぞれに楽しいひと時を過ごした。会場は笑いが絶えませんでした。今後も第2回、第3回と会を重ねて行きたいと思っています。



入居者のコーナー



あゆみのあと

- 7月**
- 1 ▽新入職員研修
 - 3 ▽衣類販売
 - 4 ▽新入職員研修
 - 5 ▽新入職員研修・理髪
 - 6 ▽生け花 B
 - 18 ▽生け花 A
 - 20 ▽移動美容室・ケア連働
 - 21 ▽森田屋・ケア連働
 - 27 ▽防災訓練

- 8月**
- 4 ▽生け花 B
 - 6 ▽納涼祭
 - 9 ▽理髪
 - 17 ▽移動美容室
 - 18 ▽森田屋
 - 22 ▽生け花 A
 - 24 ▽防災訓練

- 9月**
- 5 ▽総合防災訓練
 - 6 ▽生け花 B
 - 8 ▽家族会役員会
 - 9 ▽全体勉強会
 - 13 ▽理髪・車椅子清掃
 - 15 ▽森田屋
 - 19 ▽家族会総会・敬老会
 - 21 ▽移動美容室
 - 26 ▽生け花 A

献金・献品者ご芳名

- 6月 ▽小長谷百合子、豊橋鷹丘キリスト教会
 - 7月 ▽小川美代里、南場京子、小沼寿雄、増山サタ子、石田朋子、豊橋鷹丘キリスト教会、まるさ食品、麦の会
 - 8月 ▽小長谷百合子、真野あつ子、塩野玲子、丸井重孝、鈴木あき、木梨安久、島田和男、渡辺タケ子、斉藤千恵子、磯うた子、野口佳枝子、伊東市八幡野区、伊豆海の郷、うさみの園、伊東市社会福祉協議会、豊橋鷹丘キリスト教会、匿名1件
- (敬称略)

感謝ボランティア

伊東教会婦人会、宇佐美教会婦人会、のぞみの会、麦の会、家族会、伊東市第六地区民生委員児童委員協議会、大室高原ボランティアグループ、内田知(伊東教会)、千代崎聖子(伊東キリスト教会)、久保島泰・久保島理恵(伊豆八幡野教会)、山口光仕(川奈聖書教会)、畠澤かおり(宇佐美教会)、浅野悦昭、岡善実

(順不同・敬称略)

苦情対応の状況

- ▽施設 0件
 - ▽在宅 1件
- ・ショートステイ利用中、便剤の指示量を超えたという苦情に対し説明をしました。

苦情受付担当者
 在宅・重永仁美(次長)
 施設・小川秀幸
 (主任生活相談員)



あとながき

秋の楽しみ方の一つ、「読書の秋」の由来をご存じでしょうか？中国の文人が残した詩の中に「燈火(とうか) 親しむべし」という一節があり、「秋になると涼しさが気持ち良く感じられ、あかり(燈火)になじむようになる。」つまり、秋は読書に一番適した季節であるということを表現したこの言葉が由来とされています。また、気温も14度〜16度と脳の活動に最適な温度になるため、読書や勉強に没頭しやすい時期だそうです。

皆さんも秋涼を感じながら様々な秋を楽しんでみてはいかがでしょうか？(丁)

<お知らせ>

★清拭布寄付のお願い★
 不要になった浴衣やタオル等がありましたら、相談室の小川までご連絡下さい。

★夕光編集委員募集★
 イラストが得意な方、アイデアをお持ちの方、興味がある方等…お気軽に声をかけてください。

創設50周年記念
 スペシャルサイト
 ENTER

検索

http://www.jyuji.or.jp



機関紙夕光 第23巻3号 No.113 発行日/2011年10月1日 編集/伊豆高原十字の園機関紙夕光編集委員会
 静岡県伊東市八幡野1028-4

発行人/施設長 青木克文
 URL: http://www.jyuji.or.jp
 E-mail: izujuji@i-younet.ne.jp

TEL: 0557-541613

◆献金感謝◆

H23年6月～H23年8月
 合計 25件 569,268円
 ありがとうございました。

皆様のご支援をお願い致します
 郵便振替口座 00810-6-168180
 ゆうちょ銀行 089店当座 0168180
 口座名義 伊豆高原十字の園